

インドビジネスセミナー「ASEAN+1FTA と日系企業への影響」(主催)

インドビジネスセミナー

「ついに完成した ASEAN+1FTA と日系企業への影響」

～インド・ASEAN 自由貿易協定(AIFTA)を中心に～

ASEAN と各対話国(ダイアログ・パートナー)の自由貿易協定(ASEAN+1FTA)は、ASEAN・インド FTA(AIFTA)の署名をもって構築段階が終了、順次発効の運びとなりました。既に ASEAN に拠点を持つ日系企業にとって、AIFTA(インド自由貿易協定)の現状と、それが今後各社のインドビジネス展開に与える影響を把握することは、非常に重要になってきます。本セミナーでは、ASEAN のこれまでの FTA 戦略、及び ASEAN+1FTA が各国産業、企業に与えるインパクトや利用上の問題点、期待や懸念などについて、AIFTA を中心にご説明致しました。



日 時:2010年3月9日(火) 開場:9:45 講演 10:00～12:00

場 所:ワークピア横浜 3階 いちよう
〒231-0023 横浜市中区山下町 24-1

主 催:横浜インドセンター、JETRO横浜

後 援:横浜商工会議所、神奈川産業振興センター、横浜企業経営支援財団、
神奈川県中小企業団体中央会、神奈川県商工会連合会、横浜貿易協会

参加者数:64名

参加費:無料

プログラム:

「ついに完成した ASEAN+1FTA と日系企業への影響」

～インド・ASEAN 自由貿易協定(AIFTA)を中心に～

講 師:日本貿易振興機構(JETRO) 海外調査部

アジア大洋州課 課長代理 助川 成也 氏

なか国際交流ラウンジ 国際理解セミナー(主催)

なか国際交流ラウンジ 国際理解セミナー

「横浜に生きるインド人～インド舞踊を楽しみながら～」

シルク貿易からエレクトロニクス、そして IT へ。開港以来 150 年、横浜とインドは長い交流の歴史があります。

本セミナーでは、第 1 部として横浜とインドとの交流の歴史を写真とともにご紹介し、また、第 2 部ではインド舞踊家のエミ・マユリーさんによるバラタナティヤムの紹介とダンスのデモンストレーションをお楽しみいただきました。



インディア・クラブ 1940年 横浜

写真提供: サダニー保険代理店



日 時:平成 22 年 2 月 20 日(土) 13:30~15:30

場 所:なか国際交流ラウンジ ミーティングスペース
横浜市中区日本大通 34 なか区民活動センター内

内 容:・インド舞踊レクチャー&パフォーマンス
インド舞踊紹介:エミ・マユリ氏(インド舞踊家)

・セミナー「横浜・インド 交流の歴史」

講師:内田 千代(横浜インドセンター事務局)

コメンテーター:チャンドル G. アドバニ氏(同上、理事)

・チャイ・サモサ体験

参加費:500 円(資料・お茶代を含む)

出席者:57 名

主 催:なか国際交流ラウンジ、横浜インドセンター

第 3 回インドビジネス情報サロン(主催)

第 3 回インドビジネス情報サロン

「県内企業に聞くインドビジネスの実際 その 2」

第3回インドビジネス情報サロンを下記の通り開催しました。

※第 3 回サロンレポートは[こちら](#)

1 日 時 平成 22 年 2 月 12 日(金)午後 4 時から午後 6 時 30 分まで

2 会 場 かながわグローバルビジネスセンター 商談室
横浜市中区山下町2 産業貿易センタービル2階

ビル地図 http://www.sanbo-center.co.jp/ci/tre_map.html

3 内 容 16:00~17:10 講演・質疑応答

「県内企業に聞くインドビジネスの実際 その 2」

講師 榎本 良夫 氏 榎本機工株式会社 代表取締役

・展示会商法による海外ビジネス展開

- ・新製品開発とそれによる海外商圏拡大、
 - ・それを担う若手育成(3本の矢)
- 17:10～17:20 休憩
17:20～18:30 ネットワーキング（飲み物・軽食付き）

4 主催 一般社団法人 横浜インドセンター(YIC)

5 参加費 YIC会員 1,000円
非会員 2,000円

6 出席者 23名



右端が榎本講師

【榎本良夫氏プロフィール】

1960年代大手時計会社のインド向けプラント輸出に関わり、HMT社腕時計事業部にプレス機の輸出を開始する。1997年のIETF展に初めてプレス機を出品し、インドへのプレス機輸出が増加させるなどインドビジネスを長年経験している。

インド以外にもタイ、マレーシア、インドネシア、ベトナム、ロシアなど各国の展示会に出品しアテンドで飛び回る。

金属産業新聞に「世相日本・世界感じるままに」を年2回寄稿

www.enomt.co.jp/NewFiles/sesou.html

【榎本機工株式会社プロフィール】

1915年東京九段にプレス機工場を創業、戦災で工場焼失。戦後都下府中市で業務再開、1968年城山工場完成、本社を同地に移転。スクリーンプレス、サーボモータースクリュープレス等鍛造用プレス機では世界トップレベル。

主な海外納入国はインド、タイ、韓国、中国、インドネシア、ベトナム、フィリピン、メキシコ、イギリス、チェコ、フランスなど。

海外技術者の研修にも熱心で、1999年には研修生用の寮「エノモトインターナショナルハウス」を開設。

テクニカルショウヨコハマ2010出展

第 31 回工業技術見本市 「テクニカルショウヨコハマ 2010」出展

2月3日～5日にパシフィコ横浜で開催されたテクニカルショウヨコハマ 2010に出展し、県内の中堅・中小企業の皆様に当センターの活動・事業内容のPRを行いました。



また、会期中出展者セミナーを開催しました。



日 時:2010年2月4日 13:00～13:50

会 場:セミナー会場 A(パシフィコ横浜テクニカルショウ会場内)

内 容:「インドビジネスの今後」

講師:横浜インドセンター理事 西村 幸浩 氏

出席者:50名

日印企業経営者意見交換会(主催)

AOTS2009 年度インド中小企業経営研修コース 「日印企業経営者意見交換会」

この意見交換会は AOTS の 2009 年度インド中小企業経営研修コースの一環として、インドと日本でのマネジメントスタイルの違い、日本的経営手法をインドに導入する際の留意点等について、研修生の理解を深めることを目的に、下記の通り行われました。

日 時:2010年1月26日(火) 13:30～16:30

場 所:AOTS 横浜研修センター 12 番教室

出席者:

インド側: 上記研修コース研修生 22 名

日本側: (日印両国を拠点に活動する企業代表者 3 名)

・スリニワス ウナマタラ氏

(ウイプロ・テクノロジーズ エンタープライズ アプリケーション

ソリューション部 営業部長)

・清 好延氏 (インド・アジア開発有限会社 取締役)

・デシュムク シッドアルタ氏 (審美ラボ)

テーマ:「わが社の企業戦略～日本での取り組み～日印の比較も交えて」

プログラム:

1 企業代表者によるプレゼンテーション

2 インド研修生による質問に対応して企業代表者間でのパネルディスカッション

3 質疑応答 他

言語: 英語 (通訳なし)

主催: 財団法人 海外技術者研修協会 (AOTS)

一般社団法人 横浜インドセンター

南インド古典舞踊バラタナティヤムイベント(後援)

南インド古典舞踊バラタナティヤム チェンナイ公演

「カーリーダサに捧ぐ～マラヴィカ～」

インドの詩人カーリーダサのサンスクリット戯曲 “マラヴィカアグニミトラ” を南インド古典舞踊バラタナティヤムで表現する初めての試みです。当センター会員のインド舞踊家、エミ・マユール氏が、マハラジャと踊り子の美しいラブストーリーを生演奏による舞踊公演でお伝えしました。



日時、会場:

・2010 年 1 月 20 日 (水) 18:30-20:30

Rama Rao Hala Mantap

No.111,Habbibulla Road,T.Nagar,Chennai,INDIA

・2010 年 2 月 2 日 (火) 17:45-19:15

R.K.Swamy Auditorium

No.5,Sunderswara Street,Mylapore,Chennai,INDIA

(Sri Parthasarathi Swamy Sabha ダンスフェスティバル参加公演)

入場料: 無料

踊り: エミ・マユール、OJA

演奏: ウドゥピーラクシュミナラヤン・オーケストラ

主催: インド舞踊研究所ナーティヤ・マンジャリ・ジャパン NMJ

共催: NATYA MANJARI

協賛: ネフューズ・インターナショナル Inc.

後援: ABK-AOTS DOSOKAI、Tamilnadu Centre、横浜インドセンター他

協力: Sri Parthasarathi Swamy Sabha

平成 22 年 新春賀詞交換会・講演会

新春賀詞交換会・講演会

平成 22 年の新春賀詞交換会を下記の通り開催致しました。また、賀詞交歓会に先立ち、当センター会員でサオラ株式会社代表取締役 須田 アルナ ローラ氏に講師をお引き受けいただき、講演会を開催致しました。

※講演会のスライドと概要はこちらから→[スライド](#)・[概要](#)

日 時：平成 22 年 1 月 18 日(月)11 時から 13 時

場 所：ワークピア横浜 3 階 かもめ・やまゆり

横浜市中区山下町 24-1

講演会：11 時から正午(かもめ)

「インド再発見～意外と近いインド～」

- ・インド概要 ・日印間によくある誤解の数々
- ・何をすれば日印ビジネスは成功するのか
- ・何をしていないから日印ビジネスは成功しないのか 等

講師：サオラ株式会社 代表取締役 須田 アルナ ローラ氏

略歴 ニューデリー、インド工科大学で物理学博士取得。

1984 年外国人社員第 1 号としてキヤノン株式会社研究開発本部入社。

1999 年 7 月サオラ株式会社設立、代表取締役に就任。

アメリカとインドにも拠点を置き、ソフトウェア開発を手がける。



賀詞交換会：正午から 13 時（やまゆり）



参加費：無料

出席者：65 名

インド・ビジネスミッション派遣

インド・ビジネスミッション

<2009年12月10日(木)～12月15日(火)(6日間)>

当センターでは、JETRO 横浜との共同企画でインドのビジネス・投資環境について最新の情報を収集頂く機会として、ビジネスミッションを企画・派遣致しました。今回のミッションでは、現地における環境・省エネルギー国際見本市を視察すると同時に商談やセミナー等を通じて、参加者の皆様に具体的なビジネスの可能性を探って頂きました。また工業団地や既進出日系企業の訪問、高級スーパーの視察等を通じて、最新のビジネス・投資環境や消費動向について現地の生の情報を直接収集していただきました。

日 程:

1日目・10:45 成田発

22:45 ニューデリー着(バンコク経由 タイ国際航空利用)

ニューデリー泊

2日目・ニューデリー滞在 Energy Tech 展視察、ニムラナ工業団地、

既進出日系企業訪問、Energy Tech レセプション参加

ニューデリー泊



FICCI(インド商工会議所連合会)訪問



Energy Tech 展



ニムラナ工業団地、日系企業訪問

3日目・Energy Tech 展において商談、経済セミナー、JETRO ニューデリー

センター訪問、16:45 ニューデリー発 18:45 ムンバイ着

ムンバイ泊



ムンバイ空港(国内線)

4日目・ムンバイ滞在、Energy India 展視察、ムンバイ市内商業施設等視察、

JETRO ムンバイ事務所にて投資環境説明会、

ムンバイ泊



Energy India 展



ムンバイ高級スーパー内の携帯電話売場

5 日目・SEZ 視察、インド企業訪問、インド企業関係者との交流会、
23:20 ムンバイ発 バンコク行 機内泊

6 日目・16:00 成田着

対 象: 環境・省エネ分野を中心とした幅広い業種(機械、電気・電子、
精密機械、輸送機器等)の中小企業の方で、全行程への参加が可能な方。

費 用: ビジネスクラス 595,341 円、エコノミークラス 285,591 円

<いずれも税込み、査証代(約 8000 円)別>

- ・上記料金には航空券代、宿泊代(5 つ星クラス)、一部の食事代を含みます。
- ・現地での団体行動に係る移動手段、通訳等については、ジェトロが手配し費用を負担します。

参加者: 13 名

企画・運営: ジェトロ横浜、横浜インドセンター

旅行企画・実施: 株式会社 JTB 法人 東京

インド舞踊研究所ナーティヤ・マンジャリ・ジャパン NMJ 主催イベント(後援)

横浜インドセンターでは、インド舞踊研究所ナーティヤ・マンジャリ・ジャパン NMJ 主催による下記のイベントを後援しました。

『南インド文化体験サロン』

インドの民族衣装であるサリーの着付けを体験し、着たままインドのお話を聞きながらお茶会。そして南インド古典舞踊バラタナティヤムを鑑賞する月 1 回の定期的イベントです。

日 時: 2009 年 4 月 12 日(日)より、毎月第 2 日曜日 15:00~17:00

場 所: ナーティヤ・マンジャリ・ジャパン 稽古場
横浜市中区西竹之丸 16/JR 京浜東北根岸線「山手駅」下車徒歩 10 分

語り手・踊り: エミ・マユーリ

参加費: 1500 円(お茶菓子付) * 定員 10 名

『インド古典舞踊 バラタナティヤムの世界』

南インドで生まれた古典舞踊バラタナティヤムを学び、体験し、鑑賞するイベントです。

日 時: 2009 年 4 月、7 月、8 月、11 月の各月 1 回の日曜日

初回は 4 月 26 日(日)14:45 開場・受付、15:00 開演

場 所: シルクロード舞踊館
横浜市中区山下町 80 チャイハネ・ネネ B1/みなとみらい線「元町・中華街駅」
下車徒歩 2 分

出 演: エミ・マユーリ、ナーティヤ・マンジャリ・ジャパン

入場料: 一般 2000 円、学生 1500 円、中学生以下 1000 円、乳幼児無料

第2回インドビジネス情報サロン(主催)

第2回インドビジネス情報サロン 「21世紀はインドの世紀」

当センターでは、インドへ進出を計画・検討している会員の中堅・中小企業の皆様を対象に、インドビジネスについて豊富な経験とノウハウをお持ちの方々に具体的、実務的な情報をお話いただき、その後講師を交えて情報交換並びに会員相互の交流・ネットワーキングを行う「インドビジネス情報サロン」を定期的で開催しております。

第2回は20余年に亘り主にイスラエルビジネスに携わった後、インド系アメリカ人との共同起業によりインドビジネスに参入されたというユニークな経歴をお持ちの、当センター会員で株式会社ソフトブリッジグローバルスタディーズ代表取締役の柳川元信氏を講師に迎え、下記の通り開催致しました。



柳川 元信氏



講師(右から2番目)を囲んで

日 時：平成21年11月11日(水)午後4時から午後6時30分まで

会 場：かながわグローバルビジネスセンター 商談室
横浜市中央区山下町2 産業貿易センタービル2階

内 容：16:00～17:10 講演・質疑応答

「21世紀はインドの世紀」

・グローバル目線で見たインド

- ・「インド」自体がグローバルそのもの
- ・ハードのインドか、ソフトのインドか？
- ・次の世界と日印関係の行方 他

講師 柳川 元信 氏

(ソフトブリッジグローバルスタディーズ株式会社 代表取締役)

17:10～17:20 休憩

17:20～18:30 ネットワーキング (飲み物・軽食付き)

【柳川 元信氏プロフィール】

’63慶応義塾大学卒、東洋インキ製造(株)入社後、’78年よりイスラエル製画像処理システムの販売、合弁会社設立活動を通じヨーロッパ、アメリカでのビジネスに携わる。’02年よりインド人事業家とソフトブリッジソリューションズ(シンガポール本社)を設立しソフト開発事業とインドブネ市に“塾”を作り、教育事業を展開、’07年7月ソフトブリッジグローバルスタディーズ(株)を設立、広く人材育成事業を行っている。

【株式会社ソフトブリッジグローバルスタディーズプロフィール】

人材育成、教育事業(社員教育、学生向け研修)を展開。プログラム内容としてはグローバル

マインド研修、VVVプログラム(個人の活性化)、総合人間力プログラム、インドで英語で行うものとしてITエンジニア向けオフショアプロジェクトプログラム、学生向け異文化研修、短期語学留学プログラム、ビジネスに於けるクロスカルチャープログラム等があり、広く人材育成事業を展開。

主催：一般社団法人 横浜インドセンター(YIC)

参加費： YIC会員 1,000円

非会員 2,000円

参加者数： 18名

インドビジネスセミナー「インド、ものづくりへの挑戦」(主催)

インドビジネスセミナー

「インド、ものづくりへの挑戦 ～製造業のビジネス・チャンスを探る～」

インドではIT産業が経済の牽引役として注目される一方で、現在でも国民の多くが農業に従事し、モンスーン頼みの生活を送っています。また、製造業も十分に発展しているとは言い難い状況です。

今後経済の包括的な発展のために、このアンバランスを是正し、農業を効率化すると共に第2次産業即ち製造業を早急に育成することが国の課題とされており、ここにもものづくりにおける高い技術とノウハウを持つ日本にとっての大きなビジネスチャンスが存在します。

本セミナーでは、インドのものづくり界とwin-winの関係を構築するためにどうすればよいのか、専門家並びに実際にインドに進出されている日系企業の方に伺いました。



日時： 2009年10月29日(木) 開場 13:00 講演 14:00～16:30

場所： 神奈川中小企業センタービル 14F 多目的ホール
横浜市中区尾上町5丁目80番地

主催： 横浜インドセンター、ジェトロ横浜

後援： 神奈川産業振興センター、横浜企業経営支援財団

参加者数： 110名

参加費： 無料

プログラム：

第1部 「方法としてのインド～インドは第二の日本になる!?

日本型ものづくりを継ぐのはインド～」

①インドビジネスチャンスマップ

②相互補完的な日印ビジネスアライアンス

③ものづくり、ちえづくり、ひとづくり～「産業アーキテクチャ」の視点から

インド生産拠点化

④BoP、中間層、インドネットワーク～セグメント別インド「市場」への

アプローチ

⑤二国間協力、第三国協力、多国間協力～プロジェクト・デベロップメント

ビジネスの可能性

講師：松島大輔氏

(経済産業省インド代表、ジェトロニューデリーセンターシニアディレクター)

第2部 「ものづくりの現場から」

その1 ① 日本人の特性から見た、インドでの役割

② 工場経営経験を通じた「有ったら良いな」

講師：田中佐己夫氏（日本発条株式会社 ばね生産本部 ペローズ事業室 室長、
2004～2008 年まで日発インド(株)社長）

その2 ① 中国とインドとの相違点

② インド人の多様性とインド人との付き合いで注意すべきこと

講師：小島啓三郎氏（2005 年～2009 年 8 月まで旭インテ`ィア硝子(株)副社長兼 CTO）

インド古典舞踊バラタナティヤムイベント(後援)

インド古典舞踊バラタナティヤム 「舞踊劇ラーマーヤナ」

「ラーマーヤナ」は、古代インドの大叙事詩であり、ヒンズー教の守護神ヴィシュヌの化身である「ラーマ」王子の冒険物語です。今回の公演では、インド古典舞踊バラタナティヤムの舞踊劇として、南インド音楽に乗せて、舞踊と語りとのコラボレーションで「ラーマーヤナ」が表現され、好評を博しました。

日時：2009 年 10 月 22 日(木)

18:30 開場、19:15 開演

19:00 チーフゲストスピーチ

(横浜文化賞受賞者 チヤンドウル・G・アドヴァニ氏)

場所：神奈川県民ホール

横浜市中区山下町 3-1

踊り：エミ・マユール

語り：川井真理子

参加者数：約 200 名



ディワリ・イン・ヨコハマ2009(後援)

ディワリ・イン・ヨコハマ2009

毎年恒例の「ディワリ・イン・ヨコハマ」が、今年は 10 月 17 日(土)、18 日(日)の 2 日間の日程で開催されました。ディワリはヒンドゥ教徒のお正月にあたり、毎年この時期に横浜ではディワリ・イン・ヨコハマと題して、シタール演奏などのインド音楽や古典舞踊、料理、雑貨など、インドの文化がぐっと身近に感じられるフェスティバルを開催しています。光の祭典である「ディワリ」のフィナーレには、キャンドルライトによる「光の世界／ライトアップ」も実施されました。





横浜インドセンターのブースにて、事務局小久保、内田

日時： 2009年10月17日(土)、18日(日)10:00-20:00

場所： 山下公園おまつり広場(横浜市山下町)
みなとみらい線「元町・中華街駅」下車 徒歩 5分

雨天決行、入場無料

主催： ディワリ・イン・ヨコハマ 2009 実行委員会
(実行委員長：V.B.ルパニ、副委員長：N.C.アドパニ)
(社)横浜インド商協会、横浜ムンバイ友好委員会、横浜インド文化交流委員会、
日本ベンガル協会 NPO 日印交流を盛り上げる会

後援： インド大使館、横浜市、(財)日印協会、(社)横浜インドセンター、
(財)シルクセンター国際貿易観光会館(シルクセンター)、神奈川新聞社
tvk、FM yokohama

第9回横浜グローバルビジネスサロン(後援)

第9回横浜グローバルビジネスサロン 『拡大するインドビジネス』

インドは今年6月の自動車販売が前年比13.5%増と大幅な伸びを示すなど急速に富裕層が拡大しています。今回のサロンでは、あらゆる業界の企業に利益のチャンスが出てきているインド市場へ事業展開をお考えの皆様を対象に、ビジネス展開に必要な多方面に渡る情報をご提供しました。

【プログラム】

○セミナー1

『失敗しないインド進出 ～おさえておきたい実務のポイント～』

三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)

海外アドバイザリー事業部部长 細川 博 氏

○セミナー2

『インド人とのつきあい方』

インド・アジア開発(有)取締役 清 好延 氏

日時： 平成21年10月16日(金) 午後2時～5時

場所： 関東学院大学 KGU 関内メディアセンターM-803 会議室
横浜市中区太田町2-23 横浜メディア・ビジネスセンター8階
<http://univ.kanto-gakuin.ac.jp/modules/about1/index.php?id=47>

参加者数： 約70名

参加費： 1,000円

主催： (財)横浜企業経営支援財団

後援： (独)日本貿易振興機構(ジェトロ)横浜貿易情報センター
(社)横浜インドセンター

インド観光セミナー(主催)

インド観光セミナー

「魅惑のインド―定番から知られざる最新観光スポットまで―」

インドは常に世界で最も人気のある観光地のひとつに数えられ、日本においてもよく知られているタージ・マハルやアジャンタ、エローラをはじめとして、27か所もの世界遺産が登録されています。本セミナーではインドの現地手配会社スタッフをお迎えして、様々な観光スポットのご紹介や、ガイドブックなどにはあまり書かれていない奥深いインド文化のお話を、堪能な日本語で直接伺うことができました。



日時： 2009年10月14日(水) 14:00～16:00

場所： 産業貿易センタービル 7F 720 会議室
横浜市中区山下町2

主催： エア・インドア、インド政府観光局、横浜インドセンター

後援： 神奈川観光協会、横浜観光コンベンション・ビューロー

参加者： 44名

参加費： 無料

プログラム： 1. 開会の辞 (インド政府観光局 次長)

2. 横浜インドセンター紹介

3. エア・インドア紹介

4. インドランドオペレーターによる

*インド最新情報

*観光スポット紹介 (東・西・南・北インド 魅惑のコース)

5. Q&A

6. 抽選会 (エア・インドアからインド小物のプレゼント)

7. 閉会の辞 (エア・インドア旅客営業部長)

※横浜インドセンターでは、インド観光に興味をお持ちの方に各種地図・観光資料を差し上げています。ご希望される方はお気軽に事務局にお立ち寄りください。

第1回インドビジネス情報サロン(主催)

インドビジネス情報サロン

「県内企業に聞く インドビジネスの実際 その1」

インドへ進出を計画・検討している中堅・中小企業の皆様を対象に、インドビジネスについて豊富な経験とノウハウをお持ちの方々に具体的、実務的な情報をお話しいただき、その後講師を交え情報交換及びネットワーキングを行う「インドビジネス情報サロン」の第1回を下記の通り開催しました。

※第1回サロンレポートは[こちら](#)



日時：平成21年9月3日(木)午後4時から午後6時30分まで

会場：かながわグローバルビジネスセンター 商談室

横浜市中区山下町2 産業貿易センタービル2階

内容：「県内企業に聞くインドビジネスの実際 その1」

講師 国分 幸博氏 元 Yuken India Ltd. 取締役

- ・インド進出の経緯とパートナー選び
- ・駐在員の生活
- ・労務管理と労組
- ・州の違いは国の違いのようなもの
- ・中国ビジネスとインドビジネスとの相違点 など

16:00～17:10 講演・質疑応答

17:10～17:20 休憩

17:20～18:30 ネットワーキング (飲み物・軽食付き)

主催：一般社団法人横浜インドセンター(YIC)

参加費： YIC会員 1,000円

非会員 2,000円

参加者：25名

【国分幸博氏プロフィール】

油研工業(株)にて、主に海外勤務。1977年～80年インド、1981年～1985年香港、1988年～1993年台湾、1995年～2005年インド、2005年～2008年タイに駐在。特にインドについては1976年にYUKEN INDIA LTDが設立され翌1977年に操業を開始、その第1期の現地駐在員として立ち上げを経験。また1995年～2005年の10年間には成長期のインドを体験。

【油研工業株式会社プロフィール】

本社：神奈川県綾瀬市、資本金：41億910万円、1929年創業、1952年法人設立、産業用油圧機器、油圧システム、環境関連機械の製造・販売。海外拠点は、台湾、インド、香港、中国、韓国等。早くから積極的に海外展開を行っている。

インドセミナー「ムンバイ周辺の進出日系企業の最新の動き」

「ムンバイ周辺の進出日系企業の最新の動き」



日 時: 2009年7月28日(火) 13:30~17:00

会 場: [横浜シンポジア](#) (横浜市中区山下町2 産業貿易センタービル 9F)

内 容: 1. 「ムンバイ周辺の進出日系企業の最新の動き」

ジェットロ・ムンバイ事務所 前所長 河野 将史氏

2. 「メーカーに見るインド国内販売戦略～大消費地ムンバイ～」

オリンパス・イメージング(株) インド駐在員事務所 前所長 福田 一孝氏

主 催: ジェトロ横浜、横浜インドセンター、横浜商工会議所、海外技術者研修協会(AOTS)

参加者: 120名

ASSOCHAM 代表団名刺交換会

ASSOCHAM 代表団名刺交換会

ASSOCHAM (The Associated Chambers of Commerce and Industry of India) 代表団の初の来浜を受けて、当センターでは下記の通り名刺交換会を開催致しました。



日 時: 2009年7月28日(火) 17:00-18:00

場 所: 横浜シンポジア レセプションスペース

住所: 横浜市中区山下町2

産業貿易センタービル 9F

次第: 17:00 開会挨拶

17:10 名刺交換会(カクテルパーティー)

18:00 閉会

参加者: ASSOCHAM 代表団 13名、

横浜インドセンター会員及び

7月28日インドセミナー出席者 40名

参加費: 無料

イベント「横濱、原三溪、インド～そして1枚の写真～」後援

横浜開港 150 周年記念

「横濱、原三溪、インド ～そして1枚の写真～」

三溪園といえば、横浜にある日本庭園として知られています。しかし、原三溪とインドの高名な詩人タゴールとの深いつながりについては、あまり知られていません。横浜開港 150 周年を記念して、その知られていない歴史について紐解くイベントが開催されました。

プログラム: 第 1 部 14:00～15:40 「横浜及び原三溪氏とインドとの繋がりについて」
内海孝氏(東京外国語大学教授、原三溪市民研究会代表)、
ナリン・アドバニ氏 他

第 2 部 16:00～17:00 「光のコンサート」
ウード奏者 常味 裕司氏、光の舞 板倉 リサ氏

日 時: 2009 年 7 月 19 日(日) 14:00～17:00 (受付開始: 13:30)

会 場: 横浜開港記念館 講堂

出席者: 約 120 名

主 催: 環シルクロード実行委員会

共 催: 中区横浜開港 150 周年記念事業実行委員会

後 援: 横浜インドセンター

平成 21 年度第 1 回理事会・総会および会員交流会

第 2 回(平成 21 年度第 1 回)理事会、総会及び会員交流会を下記の通り開催致しました。

日 時: 2009 年 6 月 18 日(木)

理事会 16:00～16:30

総会 16:30～17:00

交流会 17:00～18:00

会 場: ワークピア横浜

横浜市中区山下町 24 電話 045-664-5252

議 題: 平成 20 年度(横浜インドセンター2008 年度設立協議会)事業報告及び収支決算について
役員(理事・監事)の選任について 他

FICCI 代表団歓迎夕食会・歓迎会

2009年5月31日～6月1日に横浜商工会議所の主催で横浜で開催されたCACCI（アジア商工会議所連合会）会議に出席するため、FICCI（インド商工会議所連合会）代表団7名が横浜を訪れたのを受け、横浜インドセンターでは、会員および神奈川・横浜の企業の皆様とFICCI代表団との商談会及び歓迎夕食会を開催致しました。

日 時：5月30日（土）18:00～20:00

会 場：インドレストラン [The Tiffin](#)

横浜市中区山下町25

電話：045-651-3861

出席者：80名

